

# 06

## あたらしく こくいんしよう！

げつようび

### マタイ 28章 16～20節

イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るために、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」（18～20）

人が直接行かなければならなかった仕事が、今はインターネットや電話でできるほど、世の中の技術は発展しています。ところが、全世界はむしろ治療することができない肉体問題、目に見えない精神問題を体験する人が増えていると言われています。人々に目に見えずに刻印されていることをあるからです。誤っているその刻印はなんでしょうか。そして、どのようにしてこそ、その問題をなおすことができるのでしょうか。

神様のみことばが書かれた聖書に解答があります。サタンは、神様を離れた人々が神様を分らないように、誤った刻印を植え付けて、うそをついています。しかし、サタンに勝ったまことの王、すべての災いとろいを解決されたまことの祭司、天国の背景の門を開けられたまことの預言者であるキリストを体験すれば、誤った刻印を変えることができます。そうすれば、苦しみをあじわっている人々を生かすようになります。今日から私の中におられるキリストを新しく刻印しましょう。そうすれば、だれもなおすことができない問題をなおす証人になるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

父なる神様！ありがとうございます。サタンが刻印した現場で、イエス・キリストを刻印しなければならない理由を見て、毎日、証人として立つことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いっぱい書いてみよう

下の質問に答えを書いて、イエス・キリストを刻印しよう



私にある誤った刻印はなにか

例) 爪をかじる習慣があります。  
気分が悪いとき、私も知らないうちに怒りが出ます。  
悪口を言います



新しい刻印をするには、どうすべきなのか

例) 手をきれいに洗います  
神様に悪い気分をそのまま祈ります  
愛があることばを言います

きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゅんび  
準備する資料

## ぶつぶつ いうのは もう そこまで

創世記  
39章 2～3節

主がヨセフとともにおられたので、彼は幸運な人となり、そのエジプト人の主人の家にいた。彼の主人は、主が彼とともにおられ、主が彼のすることすべてを成功させてくださるのを見た。

神様が選ばれた民として祝福を受けた民族イスラエルは、なんどもくりかえす問題と苦しみにだまされて生きていました。彼らは「私たちは奴隷なので、なにもできない」「まわりに力が強い国があるので、私たちの力では戦って勝つことはできない」といつも不平不満を言っていました。しかし、レムナントのヨセフは、奴隷として行っても、ぶつぶつ言いませんでした。神様がくださった世界福音化という夢を思っ祈りながら、神様とともにいる祝福を味わったためです。それゆえ、エジプトの王だったパロが「神の霊の宿っているこのような人を、ほかに見つけることができようか!」と言うほど、行く所ごとにただ福音を味わう証人となりました。

私はどんな姿でしょうか。イスラエルの民のように難しいことの前でイライラして怒ったり、失望したりしていますか。レムナントのヨセフのように福音を味わっていますか。私の姿を考えてみて、ヨセフが持っていた信仰を神様に求めて祈ってみましょう。思いと心を幸せにしてください。

## きょうのみことば

## きょうのいのり

父なる神様! ヨセフのように、どんな問題と苦しみがきても、不平不満を言わないで、神様とともにいる祝福を味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



あわせてみよう

ヨセフがたどった契約の旅程をかいいた絵です。  
創世記37章から41章までを読んで、順番どおりに  
ならべてください。



## きょうのでんどう

あ ひと  
会う人じゅんび  
準備する資料

れいと にくが じょうぶな  
ふくいん たいしつイザヤ  
6章 13節

そこにはなお、十分の一が残るが、それもまた、焼き払われる。テレビンの木や樫の木が切り倒されるときのように。しかし、その中に切り株がある。聖なるすえこそ、その切り株。

イスラエル民族が強い国アッシリヤとバビロンに侵略されて、多くの苦しみを受けてきました。預言者イザヤはこの姿を見ながら「神様！神様は今でも生きておられるのに、なぜ神様の民であるイスラエルは、困難と苦しみと滅亡にあわなければならないのでしょうか」と神様に質問しました。このようにイスラエルが苦しみを受けた理由がありました。神様にささげなければならない礼拝を偶像の前にしたからです。それゆえ、神様がくださった福音と、人を生かすようにくださった伝道と宣教の祝福もなくなりました。霊と肉の力が全部なくなることになったのです。そのとき神様はイザヤに「より大きい困難がくるだろう。しかし切り株（レムナント）は残るようになる。切り株を通してすべての問題を解決する」と言われました。

私たちが生きているこの時代も同じです。しかし、この時代のレムナントとして招かれた私は違います。神様がくださった福音を思いきり味わって、祈りながら福音が必要な人々に伝えなければならないからです。そのようなレムナントは、霊と肉がじょうぶな福音体質になって世の中を生かすようになるでしょう。

## きょうのみことば

## きょうのいのり

父なる神様！この時代にレムナントとして呼んでくださってありがとうございます。サタンのゆえに、文化の奴隷と属国となっている現場を生かすレムナントの祝福を味わわせてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

いっぱい書いてみよう

私はだれなのかな。ヒントを読んで、正しい答えを書こう



## きょうのでんどう

あひと  
会う人じゅんぶ  
準備する資料

かみさまが よばれました！

Ⅰ サムエル  
3章<sup>しょう</sup>19節<sup>せつ</sup>

サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、彼のことを一つも地に落とされなかった。

神の子どもに最も必要なことは、神様の御声を聞くことです。サムエルが生きていた時代は、神様がくださった契約をなくして、神様の御声を聞くことができない教会、牧会者、信徒たちがいました。強い国から多くのいじめと苦しみを受けていました。しかし、神様の御声を聞いたハンナは、時代のために祈って、レムナントのサムエルを産んで神様の契約を伝えました。サムエルは、幼い時から神殿で礼拝をささげました。契約の箱のそばで神様の御声を聞いて、イスラエルと世界を福音化するために呼ばれたという神様の命令（天命）も悟りました。神様はそのようなサムエルとともにおられ、サムエルのことばが一つも地に落ちないようにしてくださいました。

わたし かみさま よ じん かみさま みこえ き じん わたし かみさま よ  
私には神様が呼ばれる時間、神様の御声を聞く時間がありますか。私は神様が呼ばれ  
た子どもです。今日からサムエルのように、神様が最も望まれることを分るようにし  
てくださいと祈りましょう。神様がサムエルのように、私にだけくださる天命を与え  
て、導かれるでしょう。



父なる神様！ 福音を持った者として呼んでくださって、ありがとうございます。サムエルのように、天命を悟らせてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いっぱい書いてみよう

きょうのみことばとして与えられた | サムエル 3 章 19 節を  
書いてみましょう。

I サムエル 3<sup>しょう</sup>章 19<sup>せつ</sup>節

サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、  
彼のことばを一つも地に落とされなかった。



きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゅんび しりょう  
準備する資料

# てんめい、 せかいを いかす かみさまの ほうほう

## 出エジプト 3章 18節

彼らはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの主のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。

どんな状況に置かれても、どんな姿になっても、必ず聞かなければならないことがあります。それが、神様の御声、天命です。神様の御声は、私の心、たましい、生活の中で聞くことができます。御声をさらによく聞くためには、神様の最も大きい関心がどこにあるかを、くわしく見ればよいのです。これをよく分かったレムナントがいます。イスラエルを出エジプトさせるために神様が呼ばれたモーセです。

神様はモーセを呼んで「エジプトの大きい災いと世界の災いを防ぐべきなので、あなたはパロ王のところに行って、血のいけにえをささげに行かなければならないと話しなさい！」と言われました。血のいけにえをささげる日、イスラエル民族が解放されて出ると約束されたのです。モーセは、神様の約束を堅く握りました。そして、イスラエル民族を出エジプトさせる主役になりました。サタンは、いま教会まで倒そうとしています。いまは私たちが神様の御声を聞いて、モーセのように神様の天命を発見しなければなりません。今日、神様の御声を聞く貴重な一日が始まるように祈りましょう。

## きょうのみことば

## きょうのいのり

父なる神様！毎日、私の環境と事件の中で、神様の天命を聞く知恵を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろをぬろう

神様はいまも私たちを呼んでおられます。（ ）に私の名前を書いて、絵に色をぬりましょう。そしてきょう、その御声を聞くはじまりになるように祈りましょう

（ ）よ、

あなたは時代を生かす  
世界福音化の主役です



## きょうの でんどう

あひと  
会う人

じゆんぶ  
しりよう  
準備する資料

## さきに すること 3つ

マタイ  
6章 32～33節

こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。

世の中の人々は成功をしようとするなら、熱心に努力して競争しなければならないと言います。ところで、神様が願われる成功をしようとするなら、先に3つのことに成功しなければなりません。はたして、それは为什么呢。

最初に、礼拝成功です。礼拝は、神様のみことばを受けて、私を神様にささげる、とても重要なことです。ですから、礼拝をささげる前に「礼拝をささげるとき、神様がくださったまことの福音を悟って、礼拝を邪魔するすべてをなくしてください」と祈らなければなりません。二つ目、祈りの成功です。祈りは、人の前で行うものではありません。神様の前で行うのです。神様は、私が何が必要なのか、すでに知っておられます。ですから、まず神の国とその義とを求めればよいのです。また、なによりも、神様が私とともにいてくださいと祈ればよいのです。最後に、教会生活の成功です。教会にいれば、聖書のみことばを先に確認しましょう。また、みことばを聞きながら答えを受けなければなりません。そのみことばをじっくり考えながら、毎日5分間、神様に質問すれば、答えを受けることができるでしょう。このように、3つのことに成功すれば、サタンの策略のために死んでいく世の中を生かす主人公になります。それこそが神様が願われる成功です。

## きょうのみことば

きょうのいのちなる神様！礼拝と祈りと教会生活に成功するように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いっぱい書いてみよう

聖日は、神様にささげなければなりません。そのためにスケジュール表を作りましょう。下の空いているところに書いて、聖日を準備しましょう。

## 聖日みことばタイトル

## 聖日聖書箇所

|              |                  |
|--------------|------------------|
| 私が握ったみことば、祈り | パパとママとともに握ったみことば |
| 今週の祈りの課題     | 今週の福音を伝える人       |

## きょうのでんどう

## 会う人

## 準備する資料

|          |     |        |
|----------|-----|--------|
| きょうのでんどう | 会う人 | 準備する資料 |
|----------|-----|--------|